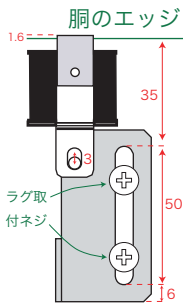


# CubeMic・DJ-X 取扱説明書

2010.5/27 バージョン

# CubeMic・DJ-X 製品保証書

## 【1】 取付方法と調整方法

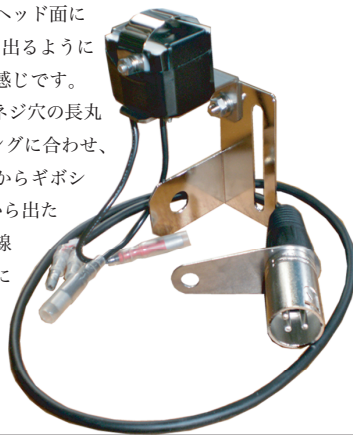


ボルトを受ける金具【ラグ】を胴に止めるネジが、胴の内側にあり、いろんなタイプがありますが、大体ネジの太さはM4～M6迄、数は1～2個。エッジからの距離は35mm～85mmに納まる範囲である事を想定し、この金具は製作されました。更にL字型ジョイントを逆転させたり、長ナットをネジ止めて工夫

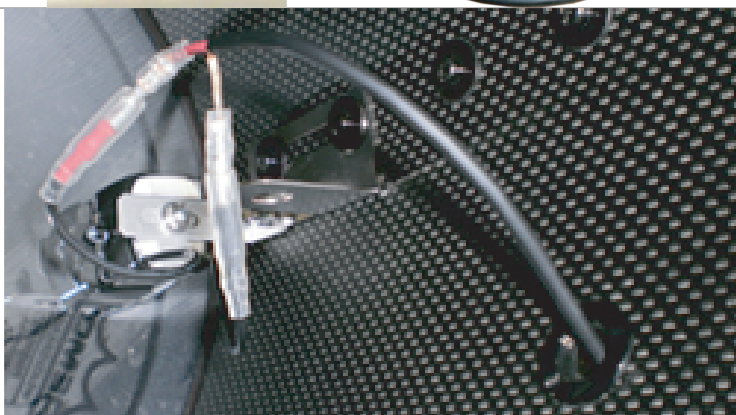


する事により、下の写真の様に、取り付ける事も可能です。ラグのネジを一回外し、取付金具をラグネジで締め付けて、DJ-X本体を固定します。そしてアーチ型に反って取り付けられている金属板【共振磁性体】のアーチ部がヘッドにちゃんと押し付けら

れ、且つ立方体のピックアップ本体部が、ヘッド面に当たらない高さ=1.6mm程度アーチが突き出るように設置します。下の写真が、胴から突き出た感じです。L字型ジョイントのピックアップ本体取付ネジ穴の長丸3mmを用いてヘッドの振動幅とチューニングに合わせ、位置の微調整を行って下さい。胴の空気穴からギボシ端子のオス2本を通し、CubeMic本体部から出た赤い印の付いた線先のギボシ端子メスに赤線ギボシ端子オスを、残りのギボシ端子メスに白線ギボシ端子オスをしっかりと押し込み、両方のビニールカバーもしっかりと押し込



- 1 -



んで、配線して下さい。配線した時点で、必ずジャックからアンプにケーブル接続し、共振磁性体を軽く叩き、発音の確認をしてから打撃面ヘッドを張って下さい。打撃面ヘッドを張る際に、右写真の様に、リムのボルト部分に、ジャック部を取付固定して下さい。DJ-Xは、ハードケース、ソフトケース内に納まり、ドラムに取り付けただけ

に出来ます。ジャック部にXLR端子ケーブルでアンプ、エフェクタ、ミキサー専用オーディオインターフェイス等、音調整部に繋いで下さい。**コンデンサーではないので絶対に48VはOffで使用して下さい。**

最後にHighleads用MOTUオーディオインターフェイスに挿し込む場合は、バスドラムはアナログイン1、ハイタムはアナログイン3、ミッドタムならアナログイン4、ロータムならアナログイン5に挿し込む事により、好適な調整音となります。



- 2 -

ご購入時に販売店より発行された領収書を、本保証書と共に、大切に保管して下さい。

正常な使用の元、ご購入より一年以内に修理が生じた場合、本保証書と販売時の領収書を提示する事により、購入された販売店様経由にて、無償修理をさせていただきます。

但し、乱暴な扱い、本取扱説明書で禁止されている使用により生じた故障、分解改造等、故意に為された破損に対する修理及びサポートは、一切行いません。又、輸送、移動、落下、火災、風水害、地震等に由り生じた故障も対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。お願い申し上げます。

製造元	: 株式会社ハイリーズ
所在	: 東京都八王子市裏高尾町190番地5
電話	: 050-3391-9719
ホームページ	: <a href="http://highleads.jp/">http://highleads.jp/</a>
お問い合わせ先	: <a href="mailto:master@highleads.jp">master@highleads.jp</a>

## 【2】 音の処理に関して

音の処理は、個人の好みで別れる部分ですが、特徴としては、ピックアップで取音された音は、中音部が張っており、高音部が小さくなっている為、中音部(500Hz～900Hz)を下げると良いかもしれません。更に低音を持ち上げると、ドラムの残響音を強調出来ます。細かい設定が可能な場合、バスドラムは40Hz～60Hz。ロータムは70Hz～100Hz。ミッドタムは120Hz～160Hz。ハイタムは180Hz～230Hz。辺りを持ち上げてみると、良い残響音を見つけやすいかもしれません。高音部は、スネアの様に、スナッピー音を強調したい場合は、5kHz～9kHz辺りを上げると良いですが、普通のドラム類は好みで別れると思いますので、自分でいろいろと弄って下さい。

## 【3】 注意事項

1. 共振磁性体は薄い金属板ですから、横から強く指で持ったまま指を移動すると、指が切れる場合があります。くれぐれも取り扱いには慎重にしてください。
2. ギボシ端子のオスとメスを接続した後に、ジャック側から配線を強く引っ張ると、配線が断線します。ピックアップとジャックの位置は、配線の余裕が出来る距離に位置決めし、最後にギボシ端子をはめ込みましょう。
3. 電源アダプター、電源ユニット、蛍光灯等が近くにあると、ピックアップがノイズを拾います。ノイズの原因となるものからは離しましょう。
4. ピックアップ本体は、絶対に分解しないで下さい。
5. ピックアップ本体に、テープ補強をしておりますが、音質に影響はありません。
6. ユニバーサル取り付け金具の寸法的に、そのまま良い位置に行かない場合でも、L字型のジョイントを逆にしたり、ネジや長ナット等で補強する事により、ベストな位置に、Highleadsマイクを設置出来る場合があります。
7. キャノン端子は、1番がシールド、2番がHot、3番がColdとなっております。

- 3 -